

内閣府

自治体・企業・NPOとの連携による「子育て支援事業」全国会議

# 全国に広がる 『子育て支援パスポート事業』の 今後の展望

2016.10.24

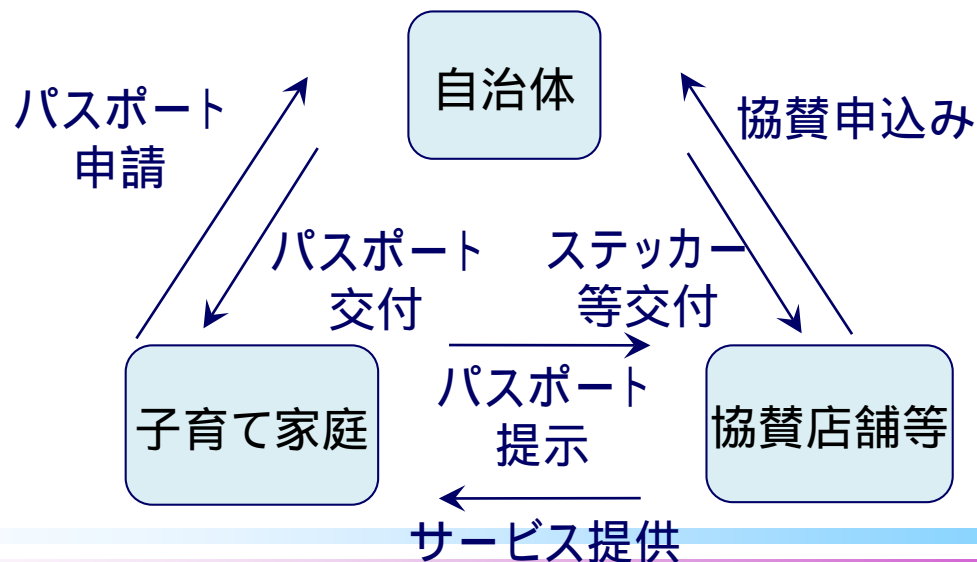
渥美由喜

# 本日、お話しすること

- ≡ 『子育て支援パスポート事業』とは  
(以下、パスポート事業)
- ≡ パスポート事業の『発展3段階』
- ≡ パスポート事業に参加する『企業メリット』
- ≡ 地方創生で選ばれる『地域』の条件
- ≡ 『パスポート事業』全国展開の活用法

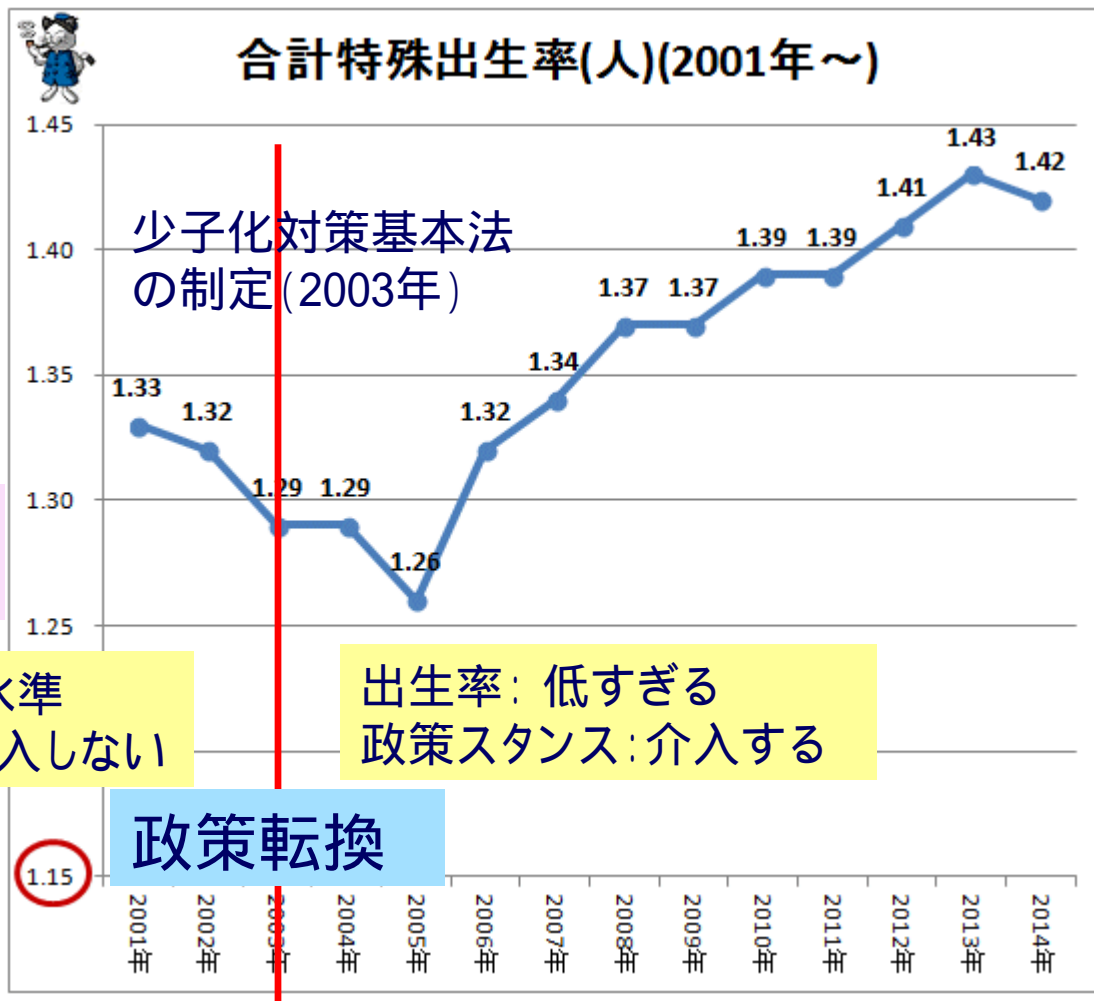
# (1) 子育て支援パスポート事業とは？

- **自治体、企業、子育て家庭の『三方よし』**
  - 自治体：「社会全体で子育て」の機運醸成
  - 企業：子育て家庭の購買
  - 子育て家庭：サービス享受



## (2) パスポート事業が開始した2005年とは

- 合計特殊出生率が『底』を打った年



国連のアンケートに対する  
日本政府の回答

# (3) パスポート事業の『発展3段階』

フランス(1921~): 第一次大戦で、  
総人口の3%が戦死した社会背景  
大家族カード(子ども3人以上に、  
鉄道料金の割引カード)

## 第1期

(2005 - 06年)

- ・多子世帯の優遇
- ・子育て機運醸成
- ・西高東低

奈良県・愛媛県(2005)、石川県・静岡県・島根県・岐阜県・山梨県・岡山県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・富山県(2006): 計15

実施時期の順(以下同じ)

## 第2期

(2007 - 2008年)

- ・広域連携(九州、四国、関西)
- ・シャッター通り対策

滋賀県・鹿児島県・広島県・埼玉県・京都府・香川県・愛知県・和歌山県・高知県・山形県・山口県・青森県・茨城県・大阪府・岩手県・群馬県・鳥取県・福島県・徳島県・三重県・兵庫県(2007)、栃木県・福井県・北海道・宮城県(2008): 計25

## 第3期

(2009 - 2016)

- ・全国を網羅
- ・全国展開大企業への波及

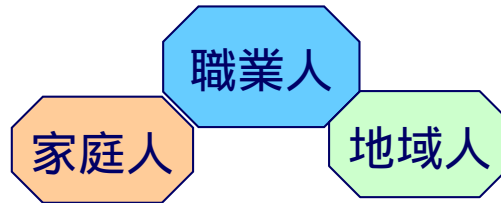
秋田県(2009) 長野県・新潟県(2010)、神奈川県(2011)、千葉県(2012)、沖縄県・東京都(2016): 計7

# 1. パスポート事業に 参加する『企業メリット』

# (1) 市民と企業の『三面性』

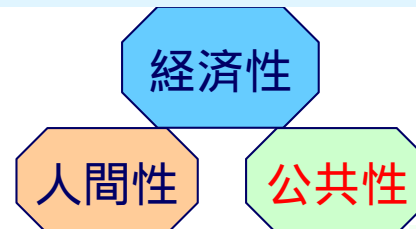
- 人口減少社会では「一人(最低でも)三役」が重要

- 市民の三面性 =



子ども・子育て関連市場

- 企業の三面性 =



子育てに優しい  
人間味のある企業

社会的課題に  
取り組む企業

## (2) 子ども・子育て関連市場

### ● 親族の購買力

- 6 ポケット (父母 + 双方の祖父母)
- 8 ポケット (未婚の叔父叔母)
  - 例: 石川県のいしかわ子育て財団



### ● タイムマシンビジネス

#### - 子どもの頃への回帰

- 例: 鳥取県境港市の「水木しげるロード」
- 23年間で、訪問客数は3000万人突破

#### - 嗜好や量が「子ども」に戻る高齢者

- 例: 児童用のコーンフレークを大量購入する高齢者
- 孫市場? 栄養満点のシニア向け商品『玄米フレーク』





## (3) 子育てに優しい『人間味のある』企業

### • 未来の『消費者』の獲得

- キッザニアでの業種別1企業限定の職業体験
- 地域版キッザニアが各地で展開
  - 例：三重県の『子育て応援！わくわくフェスタ』
  - 全国一の動員数（毎年3万人の子育て家庭が訪問）
  - 地元の中小企業経営者が、数百のブースで子どもたちを楽しませる工夫

### • 未来の『労働者』の獲得

- 地域開放型の学童で育った若者が入社
  - 例：大里綜合管理（千葉県）、株式会社 羽島企画 | トータルケア Mama's（岐阜県）

## (4) 社会的課題に取り組む企業

- 社員のセルフブランド 企業のブランド
  - 社員の被災地ボランティアが勤務先に対する社会的信用を高める
    - 例：南三陸ホテル観洋『震災を風化させない語り部バス』
  - 人口流出著しい中で、全国からネットで応募者急増。しかも『ハイスキル&高意欲』の高品質社員

